



博物館だより 2018年 夏号

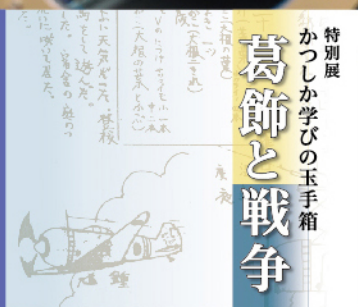
葛飾区郷土と天文の博物館 | Katsushika City Museum

The Museum Letter

Contents



リニューアルした天文施設で
新しい宇宙を体験しよう!



博物館
オリジナルグッズ



No.

1 2 1

特別展
かつしか学びの玉手箱

葛飾と戦争



学童疎開での自習時間。お寺の本堂に、長机をならべて勉強した。

当館では、平成27年度末で公開を終了した旧葛飾収蔵資料を常設展示するほか、「かつしか学びの玉手箱」を開催しています。

今回の特別展では、戦争が葛飾区教育や地域、区民の暮らしに与えた影響を紹介します。

展示内容

平成30年 7月21日(土) — 9月2日(日)

1 プロローグ -葛飾区誕生から戦争の時代へ-

昭和7年の葛飾区誕生、その前年に勃発した満州事変制となっていく経緯を紹介します。

2 国策の変化と地域や教育への影響

昭和12年の日中戦争開戦で、国内が戦時体制に突にも戦時色が反映されるようになります。また、戦時体制の補助組織として町会が誕生します。

これらが、太平洋戦争開戦を経てどのように変化してい

3 戦争の激化と銃後の暮らし

昭和17年のミッドウェー海戦敗北を契機に徐々に戦以上に国民生活に影響を与えることになります。ここ町会で行われた防空演習、戦時下での厳しい家庭生活の合わせて、昭和17年4月18日のドーリットル空襲の概要も紹介します。

4 学童疎開の本格化と区内の空襲

マリアナ諸島の陥落後、本格的な本土空襲が開始す段階にあった学童集団疎開が実行に移されます。また、焼失するなど空襲の被害が拡大していきました。

ここでは、学童疎開児童の生活の様子や区内での空襲

5 エピローグ -地域の復興と新しい教育-

終戦後の混乱期を経て、昭和22年の教育基本法制度と、ポツダム政令によって解散させられた町会が再様子を区内での事例を中心に紹介します。

区教育資料館の箱」と題する特別展

区民の暮らしに与

を契機に準戦時体

入すると、文教施策

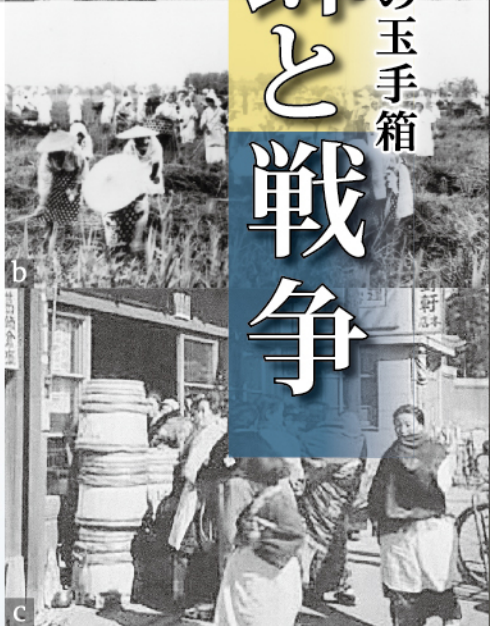
維持のため市町村

くのかを紹介します。

局は悪化し、今までは、区内の学校や状況を紹介します。とその被害について

ると、それまで計画区内でも区役所がの様子を紹介します。

行による新たな教育編成されるまでの



- a 防空演習(昭和19年3月・高砂)
- b 軍馬の飼料を採集する奉仕活動(高砂)
- c 酒屋に並ぶ人々。戦時中は配給物資の配布所として一般の商店が使われた。(立石) 所蔵:脇坂隆司氏
- d 学童疎開での朝食。合唱して「いただきます」。
- e 学童疎開での初めてのスキー。村の子に負けまいと一生懸命すべった。(奥戸国民学校・新井市)
- f 学童疎開での清掃。朝礼のあと分担を決めて、広いお寺の本堂を皆で力を合わせて掃除した。

ウェブサイトも
ご覧ください



記念講演会

「ドーリットル空襲と葛飾」

平成30年8月19日(日) 午後2時~4時 当館講堂

講師	柴田 武彦 氏 (防衛研究所戦史研究センター史料室 主任研究官)
受講料	200円
定員	100人(事前申込制)
申込方法	往復ハガキか電子申請。 ハガキの場合は、「ドーリットル」・参加者全員の住所・氏名・電話番号をお書きになり博物館あてにお送りください。 電子申請は「広報かつしか」に掲載後、ご利用できます。
応募締切	8月7日(火)必着(応募者多数の場合は抽選)

イベント

戦争を知るトークイベント「戦争体験を語る、伝える」

平成30年8月12日(日) 午後2時~4時 当館講堂

講師	斉藤 昭一 氏(葛飾昔ばなし研究会顧問) / 宮澤 一夫 氏(葛飾昔ばなし研究会会長)
受講料	200円
定員	80人(事前申込制)
申込方法	往復ハガキか電子申請。 ハガキの場合は、「トークイベント」・参加者全員の住所・氏名・電話番号をお書きになり博物館あてにお送りください。 電子申請は「広報かつしか」に掲載後、ご利用できます。
応募締切	7月31日(火)必着(応募者多数の場合は抽選)



星の動き、月の満ち欠けなど、身近な空の現象を映像で解説します。また、博物館の望遠鏡で撮影した天体もご覧いただけます。

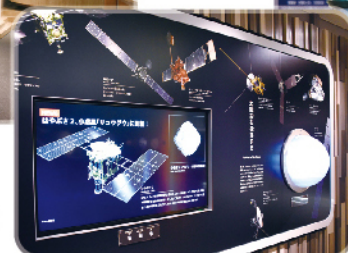


さまざまな波長で見た天体の姿や最新の天文学の話題に触れることができます。

プラネタリウムの映像を使った球体型のモニターでは星の動きなどがわかります。



太陽望遠鏡がとらえた「いま」の太陽の姿のほか、惑星探査機によって明らかになった太陽系の姿を映像でご覧いただけます。

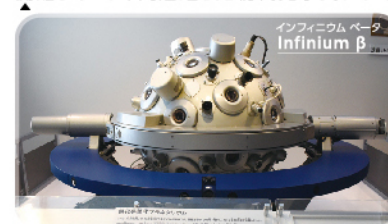


映像展示は常に最新情報に変わります。



代表的な4種類の望遠鏡に加え、現在活躍中・計画中の大型望遠鏡も紹介します。(3階のエレベーターホール前)

開館より26年間活躍した初代光学式プラネタリウム



プラネタリウム入口前のロビー

壁面がクリアーになり、振り子の動きが見やすくなりました。解説や映像のほか、江戸時代の珍しい「天文尺時計」も展示しています。

フーコーの振り子

宇宙へのいざない



世界でまだ3台しかない最新鋭の光学式プラネタリウム。漆黒の空に輝く星たちをリアルに表現するため、光源に超高輝度LEDを採用。大気の影響によるまたたきや明るさの変化も表現し、7等星まで映し出します。星の数は2万7,000個。天の川は約38万個の星の集合体として表現します。



以前よりゆったりとした座席。肘掛けには3つの回答ボタン*がついています。
※クイズの含まれる番組などで使用します。



「ティコ・ブラーエの大アーミラリー」の周囲に、ミニ講座やイベント、展示などを行う場所が誕生しました。



天文の様々な話題を紹介するスペース。その時々で内容が変わります。お楽しみに！



隕石を見ながらベンチで休憩はいかが？

天文展示室



いつでも新しい情報があり、様々な体験ができるスペースも。何度訪れても新たな発見がある天文展示室。

プラネタリウム



生解説、オリジナル番組といった魅力はそのままに、最新技術を駆使し、星空も映像も音もさらに美しく進化したプラネタリウム。

博物館オリジナルグッズ

当館1階にあるミュージアムショップはご存知ですか？郷土や天文にまつわる様々なグッズを取り揃えていますが、新しく加わったオリジナルグッズを2つご紹介します。博物館へいらした時にはぜひお立ち寄りください。

天文施設リニューアルオープン記念 オリジナル星座手ぬぐい

当館のプラネタリウムで星空を映し出す新しい投影機「インフィニウムΣ」のイラスト入りです。

大きさ 幅36cm×長さ90cm
(多少の誤差があります)
価 格 350円(税込)



特別展 かつしか学びの玉手箱 —葛飾と戦争—オリジナル一筆箋

レトロなかわいい挿絵入りの縦書きの一筆箋です。絵柄違いで2種類あります。ちょっとしたメッセージを添えるときやカードの代わりなどにぜひどうぞ。

仕 様 30枚綴り
価 格 300円(税込)



その他のグッズは、ウェブサイトをご覧ください

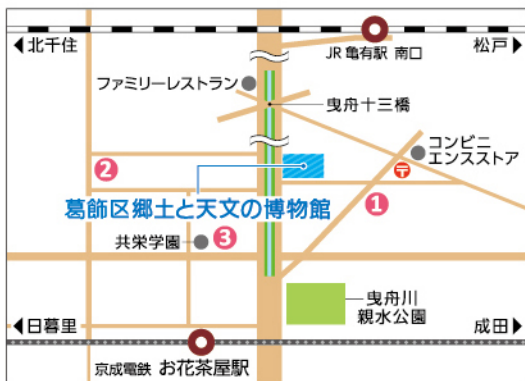


※商品のラインナップは変更することがございます。また、売り切れの際には何卒ご容赦ください。

葛飾区郷土と天文の博物館ご利用案内

- 開館時間** 午前9時～午後5時
(金・土曜日は午後9時まで開館。ただし金・土曜日が祝日の場合、午後5時に閉館。入館は閉館の30分前まで)
- 休館日** 月曜日、第2・4火曜日、12月28日～31日、1月1日・4日
(月曜祝日は開館。火曜祝日は開館し翌平日休館)
- 入館料** 大人 100円 小・中学生 50円 幼児無料
(毎週土曜日は中学生以下無料。20人以上の団体は2割引)
- プラネタリウム観覧料** 大人 350円 小・中学生 100円
幼児(座席を使う場合) 50円
(毎週土曜日は中学生以下無料。20人以上の団体は2割引)
- 年間パスポート** 大人 2,000円 中学生以下 700円
購入から1年間、入館とプラネタリウムが見放題になる大変お得なパスポートです。購入時にご希望があれば、「博物館だより」(年3回発行)を1年間お送りします。

アクセス



- 電車** 京成電鉄「お花茶屋」駅から徒歩8分
JR常磐線「亀有」駅から徒歩25分
- バス** ① レインボーかつしか(有71・有72系統)又は京成タウンバス(有70系統)で「白鳥わかば公園」バス停下車 徒歩3分
(有71 金町駅南口～亀有駅南口～ウェルビアかつしか)
(有72 亀有駅南口～ウェルビアかつしか)
(有70 金町駅南口～亀有駅南口～ウェルビアかつしか 又は タウンバス車庫)
- ② 京成タウンバス(有57系統)で「上千葉小学校」バス停下車 徒歩5分
- ③ 京成タウンバス(有57系統)で「共栄学園」バス停下車 徒歩5分
(有57 亀有駅南口～葛飾区役所 又は タウンバス車庫)

博物館だより

発行 葛飾区郷土と天文の博物館
〒125-0063 東京都葛飾区白鳥3-25-1
電話 03-3838-1101 FAX 03-5680-0849
<http://www.museum.city.katsushika.lg.jp/>

この印刷物は、印刷用の紙にリサイクルできます。